

## 9 学 力 向 上 推 進 事 業

昭和 59 年度から「魅力ある高校づくり推進事業」を、引き続いて昭和 63 年度から「特色ある高校づくり推進事業」を実施するなど、全人教育を基盤に据えながら、生徒の多様化に対応する教育を進め、平成 2 年度からは、「学力向上推進事業」を実施している。

また、義務教育における学力向上のための事業として、平成 30 年度から「授業改善推進プロジェクト事業」を実施している。

### (1) 授業改善推進プロジェクト事業（小・中学校対象）

すべての学校、すべての授業で「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指し、「信州型ユニバーサルデザイン構築事業」「信州教育の学びの基盤推進事業」を展開した。

#### ア 信州型ユニバーサルデザイン構築事業

##### ○ 事業目的

授業づくりの共通基盤をつくり、全県を挙げて授業改善を進める仕組みを整える。

##### ○ 事業内容

県下小中学校、義務教育学校で取り組んでいるものを持ち寄り、再構成することで、県下の教師で創り上げたものとして全県に広めていく。

##### ○ 「学びの改革フォーラムながの（安曇野）」の開催（1月21日）

#### イ 信州教育の学びの基盤づくり推進事業

##### ○ 事業目的

学習指導要領の改訂に際し、全ての学校、全ての教員に、児童生徒が時代に求められる資質・能力を育むための学習指導についての理解を浸透させるとともに、長野県として目指す教育課程の在り方について明らかにし、日常の授業改善を進めていく。

##### ○ 事業内容

教科等横断的な 6 つの視点で実践をしながらポイントを整理周知し、深い理解を図る。

- ・新学習指導要領のポイントを整理し、ホームページにアップするとともに、学校訪問で使用する。
- ・整理した実践を、学校訪問で紹介したり、他の学校で実践したりする。
- ・学習指導要領を踏まえた教育課程学習指導の手引「信州教育の学びの基盤」を令和元年 9 月に発刊。実践編は Web 版として県教育委員会 HP に掲載。

### (2) 高等学校の実践内容

各学校の実態に即した学力向上のための実践が行われ、学力の 3 要素の育成及び「探究的な学び」の推進が図られた。

- ・教育課程の見直し
- ・進学対策集中講座
- ・授業改善のための研究実践
- ・学習合宿の実施
- ・学習ソフト活用
- ・進路情報の活用
- ・学校間連携による協働的な学びの機会